

平成29年度第3回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成29年6月20日（火） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

はじめに、5月25日に開催された県市町村教育委員会協議会の席上、阿部教育委員から講話をいただき感銘を受けました。誠実な自分の生き方を丁寧に情熱的に明らかにして行くことの大切さを感じたところです。ありがとうございました。

次に、市ホームページの教育委員会会議の記録を見ましたが、私が就任する前と比べて、あいさつが長いかなと思いました。制度が変わって、伝えるべきことが多い状況ですが、少し気にしながらお話して行きたいと思います。

週末に新採校長研修会があり、その中でいくつか伝えたいことをお話しします。これからは新採校長が増えてくる状況であり、また、校長に限らず聞いてほしい内容だと思います。

1つには、人間性にかかわって校長はどうあるべきかについてです。懇意にしている県内のある教育長に、校長に必要な資質を1つ挙げていただいたところ「真面目さだ」との話をいただきました。これは、言われたことだけをやる真面目さではなく、物事の本質や大事なものは何なのかをとことん追求する真面目さが大切だと思います。また、健康や法令順守を含めた職務「能力」が高くあるべきだと考えています。さらに、「感謝」の気持ちが常にあるべきで、今自分があるのは他からの支えによるものだということを、常に考えていることが大切であると考えます。偉そうな人とそうでない人との差はこの点なのだろうとも思います。また、「大きい見方」が大切と考えており、広い視野や深い考え、多様性への理解が必要であるということです。最後に、最後には私が責任を取るという「先頭に立つ責任感と覚悟」が大事であるということです。

2つには、専門性にかかわってですが、教科指導の専門、学級経営の専門、部活動指導の専門であるべきと考えています。ある教諭は学生のころソフトボールの有名な選手でした。新採で配置された学校でその顧問に配置させることができず、柔道部の顧問になってもらいました。その教諭は子どもを指導するためにと、自らが練習を重ねて黒帯を取得しました。与えられたことに対し、自分は何をすべきなのか考えられることがプロであると思います。これを校長として考えた場合、「経営の方向性を示す」、「児童生徒の理解の仕方を示す」では、例えば遅刻してきた子どもが得て、“あの子遅刻してきた。きちんとさせなければ・・・”だけではなく、その背景にある家庭はどうだろう、前の日に部活で何かあったからなのかなど、深い理解ができるのが大切であり、他の先生方にもそう考えさせることが大事だと思います。また「実践の課題を示す」ことや「実践の核心をつかませ続ける」ことが大事と考えます。さらに、「保護者の信頼を得る」については、理念やその成果を示していくことが信頼につなが

るものと考えています。最後に、「行政とつながる、大きな動きを把握する」については、行政に頼ることではなく、今後の動きを把握することも重要との考えです。

3つ目の最後には、「教育への情熱」とはなんなのか、「学び続ける」とは、例えば今読み掛けの本があるということです。「教育への誇り」とは教師とは尊いものであり、それが聖職と言われることでもあります。「児童生徒を第一義に考える」とは、常に児童生徒にとってそれはどうなのかを考えていくことであり、大切にしたいことでもあります。

今後も皆様方からのご協力をお願いいたします。

< 議 事 >

議第9号 天童市学校評議員の委嘱について

<可決する>

審議経過

質疑なし

< 議 事 >

議第10号 天童市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について

<可決する>

審議経過

質疑なし

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 報 告 >

- ・東村山地区中学校総合体育大会の結果について（学校教育課）
- ・平成29年度標準学力検査の結果状況について（学校教育課）
- ・平成28年度学校給食費決算報告について（学校給食センター）

教育長：他には無いようですので、第3回教育委員会会議を終了します。